



2015年度 第2回 利活用・普及委員会

オープンデータシンポジウム開催報告

2015.12.8

VLED事務局



作者自らが作成した図表等（出典やURLの記載のないもの）については、[CC-BY \(表示2.1\)](#) で利用可能です。
出典やURLの記載がある図表等については、著作権法に基づいてご利用ください。

1. オープンデータシンポジウム2015の開催報告

(1) シンポジウム概要

オープンデータシンポジウム2015 公開から活用へオープンデータを地方創生にいかにかかすかー	
開催日時	2015年11月25日（水） 10:30~17:00
会場	アクロス福岡 国際会議場
主催 及び後援	主催 一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構、総務省
	後援 福岡市、株式会社ATR Creative、大阪イノベーションハブ、一般社団法人オープン・コーポレイツ・ジャパン、Open Data Institute Osaka、一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン、公共交通オープンデータ協議会、一般社団法人Code for Japan、ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州（BODIK）、特定非営利活動法人リンクト・オープンデータ・イニシアティブ
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 特別鼎談「地方創生とICT活用」 （福岡市長 高島 宗一郎、VLED理事長坂村 健、総務省政策統括官 南俊行） 3. オープンデータ活用ビジネスの可能性と課題 4. オープンデータサミット <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">  <div style="text-align: center;">   </div>  </div>
参加者数	89名（登壇者含めると106名）

1. オープンデータシンポジウム2015の開催報告

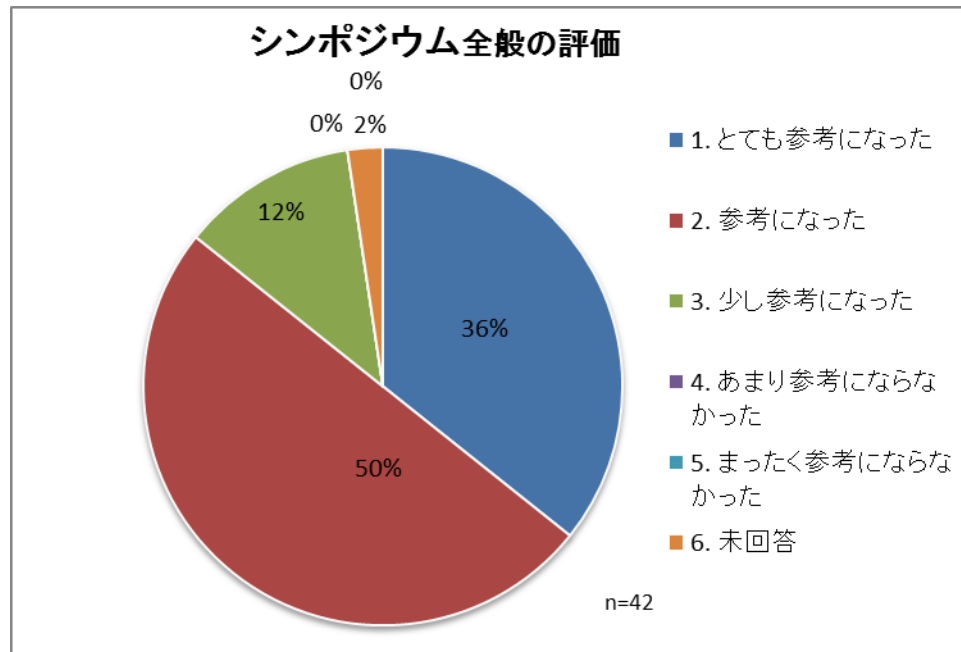
(2) プログラム概要

時刻	内容	登壇者	概要
10:30	開会	—	—
10:30-10:35	開会挨拶	総務省	—
10:35-12:00	特別鼎談 「地方創生とICT活用」	福岡市長 高島 宗一郎 氏 VLED理事長（東京大学大学院教授）坂村 健 氏 総務省政策統括官南 俊行 氏	福岡市等の国・地方公共団体におけるオープンデータの取組状況を踏まえ、ICTを用いた地方創生に向けた課題と今後の取組について議論
13:00-14:30	オープンデータ活用ビジネスの可能性と課題	株式会社リクルートコミュニケーションズ 竹内 誠一氏・榎本 淳子氏	データを活用した都市の魅力向上プロジェクトを紹介
		株式会社ウェルモ 鹿野 佑介 氏	福岡市内のオープンデータを活用した介護事業者向け情報サービスを紹介
		株式会社Zaim 閑歳 孝子氏	家計簿アプリ「Zaim」に全国自治体の補助・控除情報を搭載したサービス・取組を紹介
		株式会社おたに 小谷 祐一朗 氏	オープンデータを活用した不動産価値予測サービス「GEEO」を紹介
		株式会社パブリカ 東 富彦 氏	広報紙のデータを用いた自治体広報支援プラットフォーム「マイ広報紙」を紹介
		株式会社富士通研究所 塩田 哲義 氏	オープンデータを活用した地域特性見える化ツール「EvaCva」を紹介
14:45-17:00	オープンデータサミット	Code for Japan 関 治之 氏 OKFJ 川島 宏一 氏 ODI Osaka/大阪イノベーションハブ/ATR Creative 高橋 真知 氏 公共交通オープンデータ協議会 越塚 登 氏 Linked Open Data Initiative 小林 巖生 氏 オープンコーポレイツジャパン 東 富彦 氏 ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州 (BODIK) 村上 和彰 氏 VLED 村上 文洋 氏	国内オープンデータ関連団体の取組概要を紹介 地方創生や地域の課題解決に向けたデータ利活用における現場レベルの課題やその対応策、又オープンデータをはじめとしたデータ利活用によってもたらされる具体的な効果等について議論
17:00	閉会		

1. オープンデータシンポジウム2015の開催報告

(3) アンケート結果

- イベント全般を振り返って、どの程度役に立ったかという問いに対し、「とても参考になった」「参考になった」と回答した人が全体の8割を超えており、全体として高い満足度を得ることとなった。
- 特に参考になった情報として、オープンデータとして公開することの重要性、データ公開における障害といったオープンデータ化への取組やビジネス面からみたオープンデータの有用性が挙げられた。また、もっと詳しく知りたかったこととして、オープンデータ化やオープンデータの利活用の際における、自治体職員レベルでの取組概要などが主に挙げられた。



主なコメント

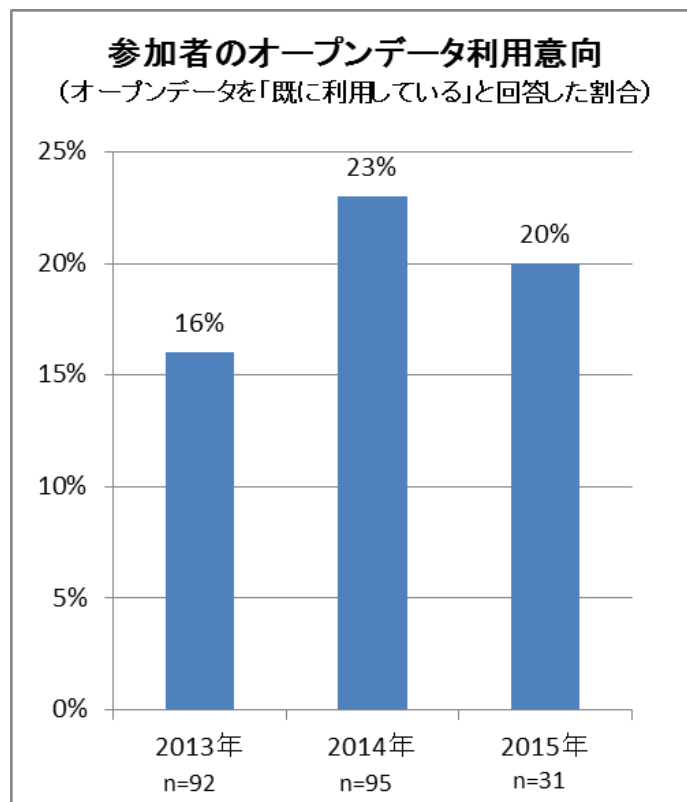
参考 になった 情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンデータ活用事例の具体的な説明 (活用イメージの共有) ・ 福岡市のオープンデータへの取組 (地方自治体におけるデータ活用事例) ・ オープンデータを出すメリットを考える前に、まずは出すことの重要性 ・ ウェルモやZaim等のビジネスからみた有意義なオープンデータの利活用方法 ・ オープンデータを公開するときの障害について (福岡市による説明)
詳しく 知りたかった 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスで良く利活用されるオープンデータ的具体例 ・ オープンデータの受益者となる自治体側の話 ・ オープンデータに取り組んでいる自治体職員レベルの苦労 ・ 政令市等の大規模市以外の人口10万人以下の市町におけるオープンデータの取組

1. オープンデータシンポジウム2015の開催報告

(3) アンケート結果

- オープンデータの利用意向を調査した結果、オープンデータを「すでに利用している」参加者の割合は、過去のシンポジウム同様、約20%となっている。
- オープンデータを既に利用している人に、ビジネスとしてオープンデータを活用した、又はビジネス化を検討した際の課題について調査したところ、オープンデータのみを利活用するだけでは限界があることや、オープンデータを利活用したサービスが無料と取られやすい点等が挙げられた。

ビジネス化に向けた具体的な課題



1. ビジネスとしてオープンデータを活用するときの課題

- オープンデータ=無料というイメージ
- オープンデータだけでは具体的な施策まで作れないこと
- 企業などが持っている個別データのオープンデータ化 (ビジネスでは企業の保有データに価値がある)

2. オープンデータを活用する際の課題

- どのようなデータがあるのか探すことが難しい
- オープンデータか否かをすぐに判別できない点
- オープンデータのプライバシー性 (プライバシーに影響があるかもしれないデータは、利用価値が高い傾向がある)

1. オープンデータシンポジウム2015の開催報告

■ 今後の講演で取り上げて欲しいテーマ

活用事例の紹介	<ul style="list-style-type: none"> • Civic Techとしての活用事例や行政事務効率化に関する活用事例の紹介 • 中小規模自治体でのオープンデータ化事例の紹介 • 自治体でのオープンデータ活用事例とそれに至った経緯 • 今後も事例紹介を継続して欲しい • IoTやロボットと連携させたオープンデータ活用事例
オープンデータの取組に対する継続性	<ul style="list-style-type: none"> • オープンデータ先進自治体における課題(実施したけど行き詰っているような問題)とその対応 • 自治体におけるオープンデータの取組に対する継続性 • データを公開した後の取組方針やデータ活用事例が生まれるまでの経緯

→ 今後も継続的にオープンデータ活用事例を紹介することに対する需要がある。さらにデータの公開に留まらず、公開後のオープンデータに対する継続的な取組について高い関心を得ていることがわかる。

■ VLEDへの要望

VLEDへの意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> • 地方ではVLED主催の事業に参加することが難しく、なかなか周囲に理解が広がらないため、各地で積極的に周知に取り組んでほしい • 地方自治体はオープンデータの前に情報リテラシーも低い。情報リテラシー向上に対する取組もおこなってほしい • 今後の地方での活動にも期待したい、中国地方での開催を希望
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

→ 地方でのシンポジウム開催に対して、高い評価を得ている。今後も地方における取組が期待されている。

